

Trading care

共に生きる 共に働く

2026年7月1日
Vol. 74



はていはてい

HATI-HATI



HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。



名古屋よりプロの人形劇団をお招きして、防災にまつわるオリジナル人形劇が催されました！

6月7日(日)、吉浜小学校体育館にて「吉浜まち協20周年フォーラム」が盛大に行われました。吉浜地区に住むインドネシア人の二人と共に、自分たちが住む町への理解や共感を深めるため、私も参加させていただきました。

この町の現状を分かりやすくデータ化し報告していただき、10年後の吉浜への思い・願いがぎゅっと詰まったフォーラムでした。

高浜に住んでまだ1年未満のインドネシア人の二人は、町のためにこんなにも一生懸命働きかける方々の多さにびっくりしていました。

つなぎたい、紡ぎたい、伝えたい、次世代への思いがとても感じられ、私たち大人の責任の重さを改めて感じました。

内藤 洋子

未来を共に紡ぐ、ミャンマーからの挑戦

代表理事 新美 純子

政変から5年が経過し、今なお混乱と武力紛争が続くミャンマー。若者たちの未来が奪われかねない過酷な情勢下で、私たちは新たな希望の光を見出しました。

4月下旬、私は現地に赴き、介護人材の採用面接を行いました。そこで目にしたのは、厳しい環境に屈せず、日本語を真摯に学び、自らの手で未来を切り開こうとする若者たちの圧倒的な熱意と知性です。その瞳の輝きに、私は一人の人間として深い感銘を受けました。

当法人が開始するプログラムは、彼らが来日後、4～5年をかけて国家資格である「介護福祉士」を取得することを目指す本格的な育成計画です。単なる不足する労働力の穴埋めではありません。彼らがプロフェッショナルとして自立し、日本の介護の未来を支える大切なパートナーとなるための挑戦です。

ミャンマーの厳しい現実から目を背けず、彼らの人生を背負う覚悟を持つこと。

それこそが、私たちがこのプログラムに取り組む「責任」であり、通すべき「筋」だと考えています。言葉だけでなく、確かな育成の成果を目指して、彼らと共に歩みを進めてまいります。当法人にかかわる皆様も、彼らを温かく、そしてプロの仲間として厳しく育てていただきたい。私たちの新しい挑戦が、今始まります。



「生き易（やす）くする力」としての 「日本語学習」

日本語教師 林三郎

今から約30年前の1998年、日本の文部科学省が学習指導要領改訂で、21世紀を生きる子どもたちの教育全体の基本理念として、「生きる力」を掲げました。

「生きる力」とは、ただ知識の詰め込みではなく、「社会の変化に対応できる思考力・判断力・表現力を持ち、自ら課題を見つけて学ぶ力」のことです。私はその時、「生きる力」を「変化の時代に生き易くする力」と置き換えてみると、より分かりやすいのではないかと考えたことを覚えています。ここ何十年、常に「変化の時代」といわれ続けてきましたが、今ほど日本も世界も大きな変化の渦の中にある時はないように思います。

そんな中で今、日本に来ている外国の方が日本語を学習するのはまさにこの「生き易くする力」を身に付けるための学習なのではないでしょうか。日本語の簡単な生活会話から日常会話を身に付け、「文字力・文法力・読解力」をつけていくことによって、コミュニケーション力を高めて仕事に生かし、さらにはいろいろな資格の習得にまで生かしていく。外国から日本に來られて、日々の生活を「生き易くする」ためにも、それぞれの夢を実現されるためにも、日本語学習は欠かせません。私たちがしているのは、そのお手伝いです。

そして、外国の人が日本語を学ぶお手伝いをしている私自身も、そのことによって「やりがい、生きがい」というありがたい「生きる力」をいただいているのです。このコラムを書いていて、そのことにも気が付きました。

二つの文化、一つの共通した価値

ジウ



ベトナムでは、多くの高齢者がバレーボールをしたり、体操をしたり、歌やダンスを楽しんだりしています。また、地域の活動にも積極的に参加しています。いつも明るくにぎやかな雰囲気があり、人と人との強いつながりを感じます。人々は健康づくりだけでなく、お互いに楽しさや思いやりを分かち合っています。

一方、日本では、高齢者は歌や楽器演奏などの趣味のサークルに参加したり、市が“健康自生地”という場を作って健康を意識した場所を作っています。これらの活動はとてもよく計画されており、健康維持だけでなく、前向きな気持ちを保つことにも役立っています。した限りでは、ベトナムにも日本にもそれぞれの良

このように、私が観察さがあります。日本では自主性や効率的な運営について学びました。一方、ベトナムでは地域の人々との温かい交流や助け合いの大切さを感じました。このような違いを通して、私はコミュニティの価値や人と人とのつながりの重要性について深く考えるようになりました。

【第17期インドネシア技能実習生4名が笑顔で入社！】

市川

4月から2ヶ月間にわたる入国後講習を修了した4名のインドネシア技能実習生が、6月1日、高浜市と瀬戸市の病院へ無事に入社いたしました。

今回のメンバーは、2名が入国時にすでに「N3」レベルをクリア。そのため、入国後講習では早くも「N2」の学習をスタートしています。また介護講習では、配属先の病院様からシーツやパジャマ、紙おむつをお借りし、ベッドメイキングや着脱介助などの実践的な訓練を重ねてきました。こうした現場に即した手厚い講習ができるのも、病院様との深い絆がある 트레이ディングケアならではの強みです。ありがとうございます。

いよいよ現場での歩みを始めた4名のこれからの活躍を、温かく見守っていただけますと幸いです。

編集後記

トレーディングケアでは、病院や施設へ配属された後も、安心して日本での生活や仕事を続けられるよう、無料の日本語学習サポートを継続して開催しています。

毎週木曜日・金曜日・土曜日の3日間、介護福祉士の国家試験対策をはじめ、日本語能力試験（JLPT）の合格、そして日々の現場で活かせる会話力の向上を目指して、一生懸命励んでいます。

勉強は大変なこともあります。ときには笑顔を交えながら、楽しく学べるアットホームな環境です。「もっと日本語で話したい」「試験に合格したい」という方、ぜひお気軽にご参加ください。皆さんと一緒に勉強できるのを楽しみに待っています。

内藤洋子



←送別会BBQ

初めてのお寿司、ワサビも食べました。感想は「辛い!!」
たくさん食べましたね。

まとめの発表→

日本とインドネシアの高齢社会の違いなどを調べて発表しました。上手にできましたね。



制服合わせの様子。緊張しています。



@TRAD.INGCARE



@TSUNAGU_TAKAHAMA



公益社団法人トレーディングケア
〒444-1303

愛知県高浜市小池町6-5-6

TEL 0566-57-7700

FAX 0566-57-7700

日・月・祝日はお休みです。

